

model : IG-503I チューブノズルツール

(いすゞ2・4トン車専用)取扱説明書

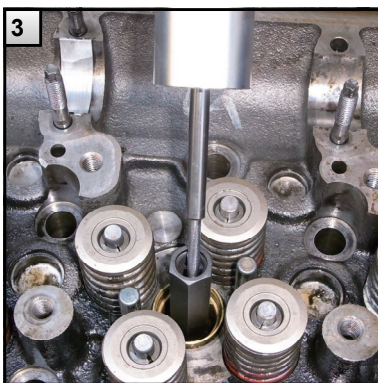
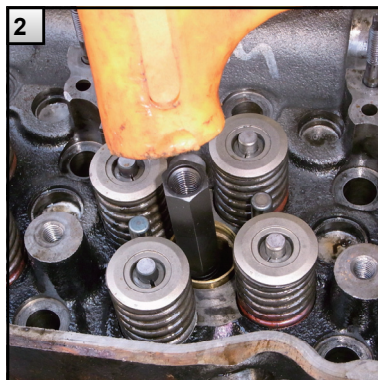
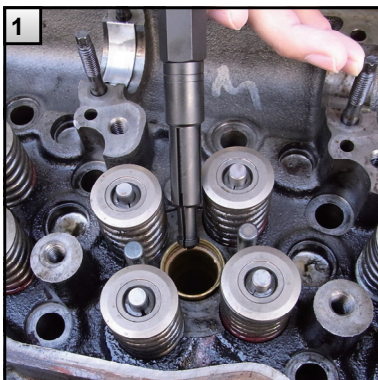
この度は、**IG-503I** : チューブノズルツールのお買上げ誠にありがとうございます。本ツールは、いすゞ車のディーゼルエンジン用ノズルスリーブ交換専用工具です。エンジン型式：**4HJ、4HL、6HL、6HK**などに使用される、純正番号：**8-97602-301-1、8-97606-661-0**のノズルスリーブに適合します。

正しく、安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守してご使用下さい。また、各作業車両毎にメーカーの整備要領書を用意し、注意事項などはメーカー指示に従って作業を行ってください。

セット内容品



- <I> 作業中、ツールの先端が燃焼室内に少し出ますので、作業シリンダーが圧縮上死点にならないよう、クランク位置を調整してから作業を行ってください。
- <I> 各作業とも、ネジ部および可動部には、モリブデングリスを切らずに塗布しておいてください。
- <I> 巻き上げナットの入れ忘れには、十分に注意してください。チャックおよびポンチが抜き取りできなくなります。
- <I> 本ツールのチャックは、上記適合純正品番のノズルスリーブ専用です。他品番のノズルスリーブに使用されると破損します。
- <I> チャックが破損すると、シリンダー内に破片が落ちる可能性があります。このような時は、マグネットツールなどで、完全に取り出してください。取り扱い上の不注意によるトラブルは、補償対象外とさせていただきます。



●抜き取り方法

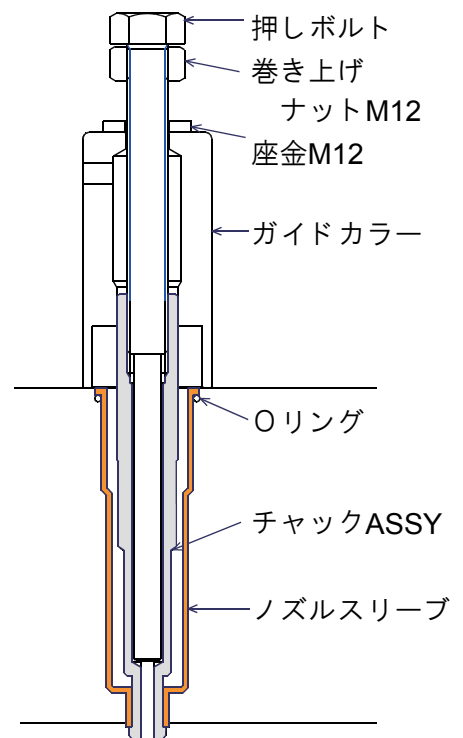
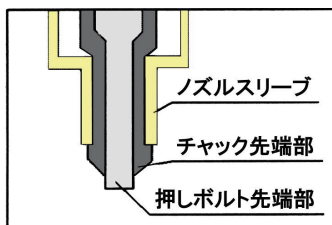
- ノズルスリーブ内各部を、プラスチックハンマーでポンチなどを使用して叩き、固着を外してください。
- (1)次に、チャックをノズルスリーブ内に差し込みます。
 - (2)チャック先端部の爪がノズルスリーブ先端部に掛かるまで、プラスチックハンマーで打ち込みます。
 - <I> チャック先端部爪が、下記イラストのように確実にノズルスリーブ先端に掛かっていないと、チャックが破損します。チャックを少し回転させながら引っ張り、抜けてしまう時や、チャックが回転しない時は打ち込み不足です。

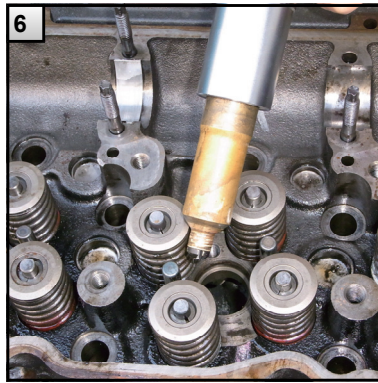
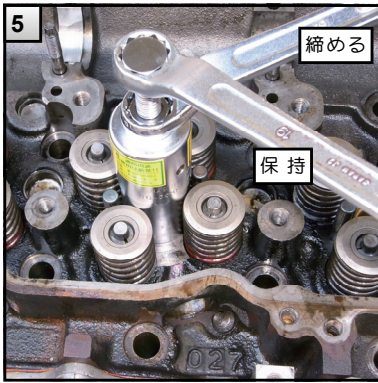
(3)押しボルトに、巻き上げナット M12 をいっぱいまでネジ込んでおき、座金 M12 およびガイドカラーに通します。

(4)チャックの六角とガイドカラー内部の六角位置を合わせながらかぶせます。ガイドカラーのサイド穴に、ドライバーなどを差して供回りを防止しながら、押しボルトを締め込みます。最後まで完全に締め付けてください。

<I> 途中で使用するとチャックが破損します。

(1)~(4)を終えた時点で、左図および右図のような状態になります。チャック先端の爪部が、ノズルスリーブ先端より出ていなければなりません。





(5)押しボルト頭部をレンチでしっかり保持しながら、巻き上げナット M12をレンチで締め込みます。
 (6)ノズルスリーブが抜き取れます。
 <I>作業中、絶対に押しボルトまたはガイドカラーが供回りしないよう、確実に保持してください。供回すると、チャックがねじ切れて破損します。

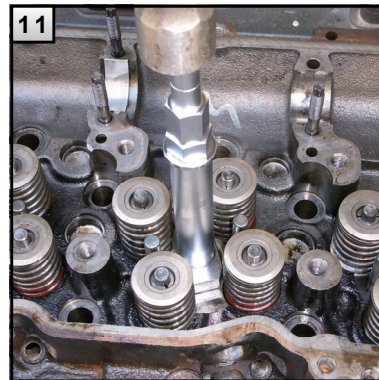
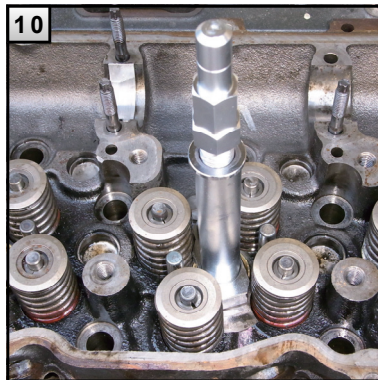
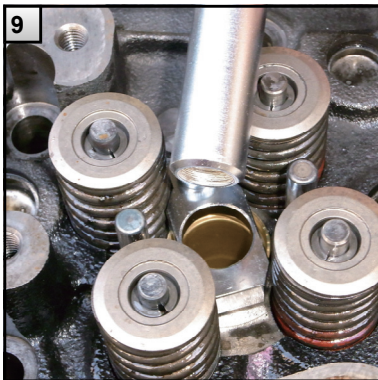
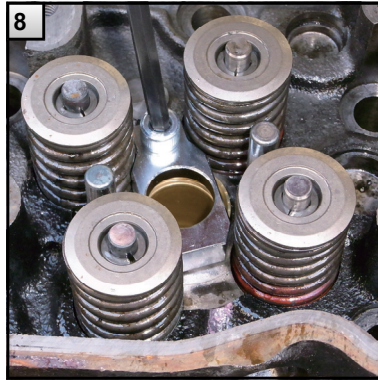
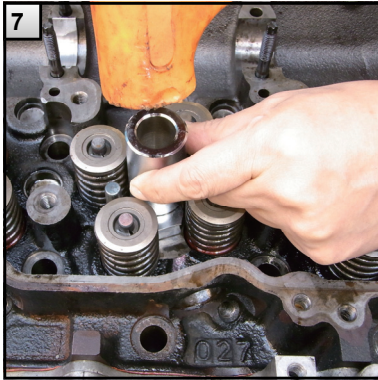
チャック抜きカラーを台にして、チャック抜きポンチでチャック先端を縮めながら、ノズルスリーブより抜き取ります。
 チャック先端爪部が、ノズルスリーブ先端に食い込んだ時は、チャックを反対から叩いて食いつきを外し、少し回転させて位置を変えて再度作業してください。



●組み付け方法

(7)新しいノズルスリーブとOリングを組み込みます。フランジをかぶせ、チャック抜きカラーなどを当て金に使用して、プラスチックハンマーで定位置まで打ち込みます。

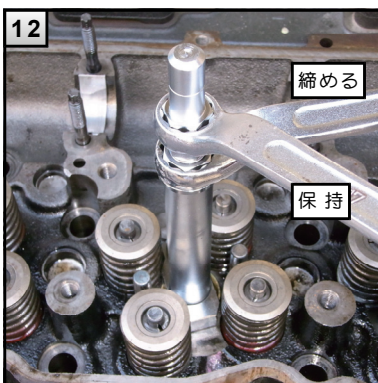
(8)シリンダーヘッドの既存のネジ穴に、キャップスクリューでフランジを固定します。



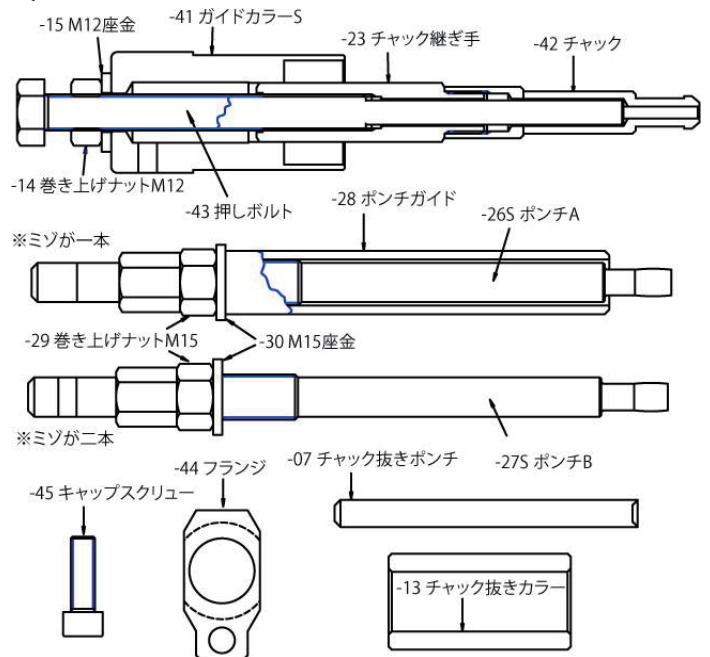
(9)ポンチガイドを入れます。
 <I>必ず、面取り側をノズルスリーブ内に入れてください。間違えると、ノズルスリーブ内部が変形します。

(10)ポンチA(目印ミゾ1本)に、巻き上げナット M15をいっぱいまでネジ込んでおき、座金 M15を通します。ポンチのカシメ部周囲に薄くオイルを塗り、ポンチガイド内に挿入します。
 <I>巻き上げナットや座金を入れ忘れると、ピストンを損傷したり、ポンチが抜き取れなくなりますのでご注意ください。

(11)ポンチを、ハンマーで最後まで(止まるまで)打ち込みます。



(12)ポンチをレンチで押さえながら、巻き上げナット M15を締め込み、ポンチAを抜き取ります。ポンチB(目印ミゾ2本)を、上記同様に作業を行えばカシメ完了です。
 <I>作業中、ポンチが供回りしないよう、確実に保持してください。ポンチが供回りすると、ノズルスリーブ内部を損傷します。



○部品発注の際は、IG-503の後に、部品図に記載されている番号をご記入の上、本セットをご購入された販売店にお申し込みください。
 ○この取扱説明書は、作業時すぐ確認できる場所に保管して下さい。紛失された時は、販売店または当社営業所宛てご請求ください。